2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　パルステック工業株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　6894　　URL　https://www.pulstec.co.jp
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）青野　嘉幸
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　（氏名）工藤　孝史　（TEL）053-522-5176

半期報告書提出予定日　2026年11月12日　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	1,001	△3.8	△32	―	△22	―	△19	―
2026年３月期中間期	1,041	7.2	89	60.8	100	87.7	70	179.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△9百万円（　―%）　2026年３月期中間期　75百万円（ 821.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△14.08	―
2026年３月期中間期	51.83	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	4,643	3,883	83.6	2,838.46
2026年３月期	5,020	4,009	79.9	2,930.63

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　3,883百万円　2026年３月期　4,009百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	85.00	85.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	90.00	90.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	5.8	400	12.1	420	6.1	300	5.0	219.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　ー　社（社名）　　、除外　ー　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	1,393,459株	2026年３月期	1,393,459株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	25,399株	2026年３月期	25,399株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,368,060株	2026年３月期中間期	1,368,150株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]３ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する説明 ……2
（２）財政状態に関する説明 ……2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 ……4
（１）中間連結貸借対照表 ……4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……5
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……8
（継続企業の前提に関する注記） ……8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……8
（セグメント情報等） ……8
３．その他 ……9
生産、受注及び販売の状況 ……9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調となりましたが、物価上昇や円安傾向の継続に加え、緊迫化する中東情勢などの地政学的リスクも一段と高まっており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、設備投資関連の引合いは引き続き増加傾向にありましたが、一部の主要部品において長納期化が顕在化しており、顧客の希望納期に間に合わないケースも散見されるなど、総じて厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、自社製品につきましては、国内外の展示会への出展、関連学会での併設展示、ウェビナーの開催、当社ショールームでのデモンストレーションの実施など、受注獲得に向けて積極的な営業活動を展開いたしました。

また、主要部品の長納期化に関する情報に基づく先行手配の実施など、安定的な製品供給体制の整備にも注力いたしました。

受託開発や受託生産につきましては、主要顧客との一層の関係強化を図るほか、部品の長納期化に対処するための営業提案を行うなど、早期の受注獲得を目指した営業活動を展開いたしました。

以上の結果、売上高は10億１百万円（前中間連結会計期間比3.8％減）、営業損失は32百万円（前中間連結会計期間は89百万円の利益）、経常損失は22百万円（前中間連結会計期間は１億円の利益）、親会社株主に帰属する中間純損失は19百万円（前中間連結会計期間は70百万円の利益）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

（Ｘ線残留応力測定装置関連）

製品の引合いは増加傾向となりましたが、期首の受注残高が少なかったことに加え、前半の販売が伸び悩んだことから、売上高は２億25百万円（前中間連結会計期間比40.4％減）、セグメント利益は25百万円（前中間連結会計期間比81.0％減）となりました。

（ヘルスケア装置関連）

計画していた受託開発案件は概ね完了いたしましたが、検収段階の課題解決に時間を要し、当初の予定を上回る工数が発生したことから、売上高は３億72百万円（前中間連結会計期間比40.7％増）、セグメント損失は11百万円（前中間連結会計期間は13万円の損失）となりました。

（光応用・特殊機器装置関連）

主要顧客からの引合いは引き続き好調を維持しており、納品につきましても概ね順調に推移したことから、売上高は４億３百万円（前中間連結会計期間比1.7％増）、セグメント利益は１億８百万円（前中間連結会計期間比9.0％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて３億76百万円減少し、46億43百万円となりました。これは主に、投資有価証券が３億14百万円増加し、現金及び預金が３億89百万円、売掛金が１億98百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて２億50百万円減少し、７億60百万円となりました。これは主に、賞与引当金が１億11百万円、未払法人税等が80百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて１億26百万円減少し、38億83百万円となりました。これは主に、利益剰余金が１億35百万円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて３億88百万円減少し、13億46百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において営業活動の結果獲得した資金は、75百万円（前中間連結会計期間は２億82百万円の獲得）となりました。主な増加要因は、売上債権の減少２億39百万円であり、主な減少要因は、賞与引当金の減少１億11百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は、３億44百万円（前中間連結会計期間は１億44百万円の使用）となりました。主な減少要因は、投資有価証券の取得による支出２億96百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は、１億14百万円（前中間連結会計期間は１億52百万円の使用）となりました。これは、配当金の支払額１億14百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり、変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,159,240	1,770,237
売掛金	590,585	391,654
電子記録債権	89,535	48,659
仕掛品	425,515	453,610
原材料及び貯蔵品	272,734	192,247
その他	13,108	16,574
流動資産合計	3,550,719	2,872,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	592,115	586,772
その他（純額）	392,188	382,765
有形固定資産合計	984,303	969,537
無形固定資産	926	799
投資その他の資産		
投資有価証券	67,151	381,841
その他	416,962	418,280
投資その他の資産合計	484,114	800,122
固定資産合計	1,469,344	1,770,460
資産合計	5,020,064	4,643,443
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,175	21,684
電子記録債務	53,165	47,016
未払法人税等	91,229	11,223
賞与引当金	164,380	52,864
その他	230,446	175,847
流動負債合計	570,398	308,636
固定負債		
退職給付に係る負債	440,384	451,623
固定負債合計	440,384	451,623
負債合計	1,010,783	760,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	1,708,487	1,572,947
自己株式	△166,768	△166,768
株主資本合計	3,962,890	3,827,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,452	29,486
為替換算調整勘定	27,938	26,347
その他の包括利益累計額合計	46,390	55,834
純資産合計	4,009,281	3,883,184
負債純資産合計	5,020,064	4,643,443

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	1,041,027	1,001,960
売上原価	632,929	680,173
売上総利益	408,097	321,787
販売費及び一般管理費	318,689	354,235
営業利益又は営業損失（△）	89,408	△32,448
営業外収益		
受取利息	5,101	7,192
受取配当金	1,544	1,664
売電収入	7,029	6,415
その他	1,111	1,013
営業外収益合計	14,786	16,286
営業外費用		
支払利息	14	－
為替差損	1,081	3,302
売電費用	2,981	3,298
営業外費用合計	4,076	6,601
経常利益又は経常損失（△）	100,117	△22,763
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益 又は税金等調整前中間純損失（△）	100,117	△22,763
法人税等	29,205	△3,508
中間純利益又は中間純損失（△）	70,912	△19,255
非支配株主に帰属する中間純利益 又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	－	－
親会社株主に帰属する中間純利益 又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	70,912	△19,255

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	70,912	△19,255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,348	11,034
為替換算調整勘定	△350	△1,591
その他の包括利益合計	4,998	9,443
中間包括利益	75,911	△9,811
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	75,911	△9,811
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	100,117	△22,763
減価償却費	40,242	53,899
受取利息及び受取配当金	△6,645	△8,857
支払利息	14	－
為替差損益（△は益）	392	3,749
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額（△は増加）	279,767	239,744
棚卸資産の増減額（△は増加）	△42,999	52,372
仕入債務の増減額（△は減少）	46,711	△16,721
賞与引当金の増減額（△は減少）	△82,436	△111,506
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,837	11,239
その他	△44,541	△52,035
小計	295,460	149,120
利息及び配当金の受取額	6,395	6,929
利息の支払額	△11	－
法人税等の支払額	△19,196	△80,894
営業活動によるキャッシュ・フロー	282,647	75,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△52,103	△8,357
定期預金の払戻による収入	67,125	8,211
有形固定資産の取得による支出	△159,756	△47,285
投資有価証券の取得による支出	－	△296,923
その他	729	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,004	△344,355
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,660	－
自己株式の取得による支出	△47	－
配当金の支払額	△149,556	△114,564
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,263	△114,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	△229	△4,999
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△13,850	△388,762
現金及び現金同等物の期首残高	1,884,027	1,734,981
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,870,177	1,346,218

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	378,368	258,405	291,011	927,785
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,061	6,120	106,060	113,241
顧客との契約から生じる収益	379,429	264,525	397,071	1,041,027
外部顧客への売上高	379,429	264,525	397,071	1,041,027
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	379,429	264,525	397,071	1,041,027
セグメント利益又は損失（△）	136,260	△130	99,664	235,795

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	235,795
全社費用（注）	△153,211
棚卸資産の調整額	6,824
中間連結損益計算書の営業利益	89,408

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	224,271	366,479	322,512	913,263
一定の期間にわたり移転されるサービス	1,703	5,680	81,313	88,697
顧客との契約から生じる収益	225,975	372,159	403,825	1,001,960
外部顧客への売上高	225,975	372,159	403,825	1,001,960
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	225,975	372,159	403,825	1,001,960
セグメント利益又は損失（△）	25,879	△11,024	108,628	123,483

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	123,483
全社費用（注）	△161,397
棚卸資産の調整額	5,465
中間連結損益計算書の営業損失（△）	△32,448

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．その他

生産、受注及び販売の状況

（１）生産実績

当中間連結会計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同期比（%）
X線残留応力測定装置関連	389,600	97.2
ヘルスケア装置関連	285,454	90.8
光応用・特殊機器装置関連	451,873	105.0
合計	1,126,927	98.4

(注)生産高は販売価格で表示しております。

（２）受注実績

当中間連結会計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
X線残留応力測定装置関連	437,754	85.2	345,137	82.9
ヘルスケア装置関連	69,693	54.5	895,766	100.0
光応用・特殊機器装置関連	334,413	88.8	442,660	81.5
合計	841,861	82.7	1,683,564	90.8

（３）販売実績

当中間連結会計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同期比（%）
X線残留応力測定装置関連	225,975	59.6
ヘルスケア装置関連	372,159	140.7
光応用・特殊機器装置関連	403,825	101.7
合計	1,001,960	96.2

(注)主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前中間連結会計期間（自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間（自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	
	販売高（千円）	割合（%）	販売高（千円）	割合（%）
株式会社日立ハイテク	232,928	22.4	281,889	28.1
株式会社島津製作所	－	－	127,500	12.7